

意見書

■地方税財源の充実確保に関する意見書

地方財政は、財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いていることから、地方税財源の充実確保について、政府に強く要望するため、意見書を提出する。

■若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書

若い世代が仕事と生活の調和を保ち、安心して働き続けることができる社会の実現に向け、一層の取り組みを進めるよう、国に強く要望するため、意見書を提出する。

討論

【24年度決算の認定】

賛成 自民党

24年度決算は、歳出で、東日本大震災復興推進基金などが減額となったが、学校施設の耐震補強工事など、市民の安全な暮らしを支える事業など

に積極的に取り組んでおり、最少の経費で最大の効果が得られるよう、経費の縮減を図りつつ、各種施策・事業を的確かつ着実に推進されたものと評価する。

今後は、社会保障関係経費の増加に伴い、益々厳しい財政運営が予測されるが、収納対策の取り組みの一層の強化や、施策・事業の選択と集中を強化し、予算の重点化や優先化を図りながら、市民ニーズの変化や時代の新たな要請に的確に対応し、市民福祉の向上に寄与されるよう要望し、決算に賛成する。

反対 共産党

24年度決算について、①災害への備え、防災のまちづくりを行政の土台に据えているか、②原発を無くし、自然・再生可能エネルギーへの転換とエコのまちづくりに本格的に取り組んだか、③いのち、暮らしを守ることを最優先の使命としてい

るかという観点から検証し、市民の願いに応えた決算状況ではないことから、決算に反対する。

【陳情第45号】

不採択に反対 共産党

図書館は全ての市民の学習を保障する場として無料利用の原則が貫徹されていることや、3年間の指定管理期間では長期的視野に立った運営が難しく、専門性の継続と蓄積が困難であること、民間活力を導入しても競争の原理が働かないことなどから、陳情の不採択に反対する。

不採択に反対 環境

河内図書館のあるべき姿をどのように捉え、進めていくのが議論されず、ただ単に民間活力を活用し、運営コストの縮減とサービス向上を掲げ、指定管理者制度を導入する方針を出し事業展開を進めていることは、あまりにも短絡的であることなどから、陳情の不採択

に反対する。

【若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書】

反対 共産党

趣旨には賛同するが、労働規制改革の中の限定正社員を推進する内容であり、労働環境の改善とは相いれないことから、意見書の提出に反対する。

新会派の結成

会派結成届が提出されました。

「会派名」

環境と健康を守る会

(1名・略称 環境)

結成日 8月1日

代表 遠藤 和信

議員の辞職

福田 智恵 議員

(8月23日辞職)

議員研修会を開催

9月24日に、一般財団法人地域開発研究所、主任研究員の牧瀬稔^{ノブ}氏を招き、「議員が提案する政

策条例のポイント」をテーマに、議員研修会を開催した。

政策条例づくりにおけるノウハウやポイントについて、他市のユニークな条例などを例に挙げながら話され、参加議員は熱心に耳を傾けていた。



▲議員研修会の様子

表紙写真について

宇都宮市議会では、市民に開かれた議会を目的に、これまででも議場ジャズコンサートやジュニア未来議会などを実施してまいりましたが、このたび、より市民に開かれた、市政発展に寄与できる議会を目指し、議会基本条例を制定しました。

皆さまに信頼される議会を目指して、これからも、より一層頑張つて参ります。

ネットワーク型コンパクトシティ調査特別委員会が設置されました

10月1日に特別委員会(15人)が設置された。委員は次のとおり。(◎は委員長、○は副委員長) 付託調査事項: ネットワーク型コンパクトシティについて

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| ◎櫻井 啓一
(自民党) | ○舟本 肇
(自民クラブ) | 保坂 寿
(統一) |
| 馬上 剛
(自民党) | 郷間 康久
(統一) | 小平美智雄
(市民連合) |
| 菊地 公史
(公明党) | 小林 紀夫
(自民党) | 福田久美子
(共産党) |
| 遠藤 和信
(環境) | 渡辺 通子
(公明党) | 塚田 典功
(自民クラブ) |
| 今井 恭男
(市民連合) | 阿久津善一
(自民クラブ) | 中山 勝二
(自民党) |